

# 働き方改革 通信

## For everyone's Smile

第2号  
令和3年5月  
山形県教育庁

### ☆令和2年度下期集計 速報値☆

まもなく正式な集計結果がまとまりますが、令和2年度は、目標としていた数値をどの校種もクリアできました。これまでの各学校における取組みに感謝いたします。令和4年度末までに複数月平均の超過勤務時間80時間を超える教員数0人を目標に、実効性ある取組みを一層進めていく必要があります。

県教育委員会が働き方改革推進のために、最初に行ったことは「業務の分類」でした。各校種ごとの教頭と教諭、養護教諭及び部活動顧問が担う様々な業務として、のべ約530項目を挙げ、業務態様ごとに仕分けし、それぞれについて、教職員の負担軽減に向けた、対応の方向性を検討しました。その結果が、『**学校における働き方改革の取組み手引**』であり、みなさんから次々とよい取組みをいただき更新した結果、現在の二訂版となっております。

以下枠内は当時の、分類の方法です。

- ① 教員の本来的な業務であるが、個々の教員が改善意識を持ち、校務分掌、教科、学年、部活動等において教員相互の協力により業務を平準化・効率化するとともに、組織的な対応により負担軽減を図る。
- ② 校長の学校マネジメントにより、業務の負担軽減を図る。
- ③ 外部の協力を得ることにより、教員の働き方の改善を図る。
- ④ 予算措置(人的・物的)により、教員の働き方の改善を図る。

この4つの対応の方向性について、効果のあった先行事例を提示し、その中から、各学校や各市町村教育委員会が選択して活用いただけるよう工夫いたしました。

客観的な時間管理が徹底しつつある中、来年度に向けて前年度比20%の削減をする際、ぜひ今一度、「学校における働き方改革の取組み手引」を参照いただきたいと思います。

そして、時間外在校等時間の調査の中で、各校種10%~20%を占める「その他」と分類されている業務の数値と内容にも御注目いただければと思います。

一人一人の勤務時間管理の意識は高まりつつあります。教職員一人一人が、児童・生徒が、そして保護者・地域の方々が笑顔になる働き方へ向かうためにも、「学校における働き方改革の取組み手引」という一つの地図を手掛かりに、さらに歩みを進め、令和3年度の目標を達成しましょう。

裏面に続きます。

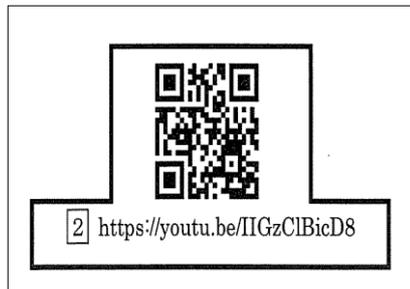
## ○勤務時間外のおもな業務 授業準備・教材研究に関して

**県教育センター**では「授業情報システム」を活用して、学習指導案の検索ができるようにしています。また、各種リンクから、授業づくりに関する情報を得ることができます。例えば、NITS（独立行政法人教職員支援機構）のページからは、オンデマンドの動画を通して各教科等の学習指導要領や実際の授業事例の情報を得ることができます。NITSの動画は、校内研修に活用しやすいよう20分程度となっています。動画を職員全員で視聴した後に、話し合いを行うなどの活用が可能です。「働き方改革におけるタイムマネジメント」という動画もあります。

また、**義務教育課**では、英語と数学の動画配信をしています。算数・数学については、児童生徒が自分のつまずきに応じて学習するものとして、山形チャレンジ評価問題シートをもとに作成しました。英語については、先生方が「話すこと」の授業づくりに参考とすることができるように、山形大学の学生と協力して作成した動画があります。

### 教材研究・授業準備に改善が見られた事例

学校における働き方改革の取組み手引【二訂版】より



小4 2 山形チャレンジ  
評価問題シート より



英語◇今年の抱負を伝え合おう

<https://youtu.be/aBIBhAQ05b1>

#### 〈事例 2-404〉

校内研究の提案授業を学年同一単元の異なる時間で行うことにした。必然的に学年内での教材研究が充実し、単元全体を通して授業改善を図ることができた。また、指導案作成時間も削減され、その分、日々の授業の準備や評価の時間を確保することができた。

#### 〈事例 1-505〉

学年・単元ごとに問題集を整理し、県教育委員会作成の問題集等もラベリングして仕分けを行い、教材研究等に必要な資料を取り出しやすくした。

## ○時間外在校等時間（年間平均）を45時間より大きく下回っている中学校の事例

### 三川町立三川中学校

- ・部活動の多くが地域のクラブ活動として活動できる体制が整っており、教員の土日の部活動指導の負担軽減につながっている。

## ○オンライン事例報告より

〈飯豊町〉小中学校での給食費の徴収等の業務に関して、公会計化している。また、小中学校の事務費（主に用紙代）を町予算で負担していることにより、学年学級の予算決算の事務の軽減になっている。

〈鶴岡市立温海中学校〉令和3年度から、シーズンオフの期間（12月～2月）の休日の部活動は地域で行うことができるように、協力依頼をする予定。